

国際シンポジウム「関西アーティスト・イン・レジデンス」の開催について

平成28年6月26日
広域観光・文化・スポーツ振興局

関西では、国内外アーティスト等が地域住民と交流を図りながら制作活動を行うアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の取組が各地で行われています。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック等の開催に向け、アートによる地域活性化の取組を紹介することにより、関西の魅力を国内外に発信するとともに、各地域の文化・国際交流の促進を図るシンポジウムを、下記のとおり滋賀県立陶芸の森において開催しますので、ご報告します。

記

- 1 日 時 平成28年10月22日（土） 13:00～19:00（予定）
- 2 場 所 滋賀県立陶芸の森 甲賀市信楽産業展示館ホール他
（滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7）
- 3 主 催 関西広域連合、滋賀県
（後援）甲賀市、滋賀県文化振興事業団、信楽まちなか芸術祭実行委員会
歴史街道推進協議会
- 4 テー マ 『アーティスト・イン・レジデンスの可能性とその評価』
- 5 内 容
 - キーノート・スピーチ
「創造産業とアーティスト・イン・レジデンス」
野田邦弘氏（はなやか関西・文化戦略会議委員、文化政策学者、鳥取大学教授）
 - パネル・ディスカッション1
「海外から見た日本文化とアーティスト・イン・レジデンス事業」
ミエリーテラン・ファンパブロ氏（陶芸の森スタジオ・アーティスト／メキシコ）
クリスチャン・メルリオ氏（ヴィラ九条山館長／フランス）
若杉聖子氏（陶芸家、フランス、リモージュのレジデンスに滞在／兵庫県）
（安藤祐輝氏 陶芸の森創作研修課 レジデンス事業担当指導員）
 - パネル・ディスカッション2
「レジデンスの現場—作家の視点・運営側の視点」
下田展久氏（C.A.P.（特定非営利活動法人 芸術と計画会議）理事長／神戸市）
勝治真美氏（京都芸術センター プログラム・ディレクター／京都市）
小松裕一郎氏（陶芸の森スタジオ・アーティスト／アメリカ在住）
（松波義実氏 陶芸の森創作研修課 レジデンス事業担当主査）
 - パネル・ディスカッション3
「アーティスト・イン・レジデンス事業の評価」
小吹隆文氏（フリーライター）
菅野幸子氏（国際交流基金情報センター プログラム・コーディネーター）
（杉山道夫氏 陶芸の森創作研修課長）
 - スタジオ見学会＋交流会
- 6 参 加 者 300人（入場無料）、事前申込（先着）